
令和6年度用 小学校 図画工作 教科書

複式学級の年間指導計画（案）

【複式学級の年間指導計画（案）作成の考え方】

「複式学級」とは、二つ以上の学年の児童・生徒を一つに編成した学級を指しますが、ここでは、学習指導要領の「目標及び内容」と年間授業時間数が低・中・高学年でくられて示されていることをふまえて、この2学年間でのカリキュラム案を示しました。

学習指導要領に示されている〈表現(1)(2)アの造形遊び〉、〈表現(1)(2)イの絵・立体・工作〉〈鑑賞〉などの、いわゆる「分野・領域」をそろえることや、使用する材料や用具、活動場所など合わせることをできるだけ目指し、各題材に設定されている授業時間数を合わせることを加味しています。なお、原則として、奇数学年の標準型カリキュラムをもとにして、これに合わせる形で偶数学年の題材配列を一部変更しています。

複式学級のカリキュラム作成（案）のご利用にあたっては、児童の興味や関心、活動のペースやリズムを大切に、学校行事などの予定も加味して適宜共同での活動を取り入れたり、授業時数を調整したりして、自由に選択したり計画を修正したりしてご活用ください。

なお、本指導計画においては、1単位時間を45分として扱っています。

凡例



は、どちらかの題材を2学年合同で活動するほうがたのしく活動できる造形遊びの提案です。



は、それぞれの学年でどちらかの題材を選ぶ選択題材の扱いです。

